

桜のきせき



令和3年10月26日

No.23

文責：校長 稲葉裕美

朝夕は、高台にある春日小の校舎の中を冷たい秋風が吹き抜けていきます。日差しのありがたさを感じるこの頃です。

今週は、授業参観が行われています。活動しやすいこの時期に、各学年で学びの充実を図っていきたいと考えています。ぜひ、学校に足を運んでいただき、ご家庭でも学校での活動を話題にしていいただければと思います。

○子どもたちの「言葉」を育てる

全国読書週間が 10/27～11/9まで行われます。春日小では、その期間に先駆けて、「読書推進活動」に取り組んでいます。朝の読書タイムに担任以外の職員が行う「読み聞かせ」もその一つです。

私も1年生の教室へ行って、絵本「すてきな三にんぐみ（トミー＝アンゲラー作）」を読みました。

お話のなかに「まっかな おおまさかり」という言葉が出てきます。ある子が「『まさかり』って何？」とたずねます。別の子が「ほら、あれだよ、あの赤いやつ」と絵本を指差します。たずねた子は「ああ、『まさかり』って、あれ。」とつぶやき、納得していました。

言葉は、体験を通して獲得していきます。しかし、言葉すべてを体験で学べるわけではありません。体験していないことも、読書を通してなら学ぶことができます。本を読むことは、言葉の力をつけることにつながります。

先ほどの1年生のように絵本の絵と言葉を結び付けたり、お話の出来事とその感情を表す言葉を結び付けたりしながら、子ども達は言葉を増やしていきます。もちろん、生活の中での会話も言葉の力につながります。

言葉をたくさん知っていれば、自分の気持ちをより分かりやすく伝えられますし、相手の気持ちを理解することができます。逆に、知っている言葉の数が少ないために、学習が分からなくなることもありますし、自分の気持ちをうまく伝えられずに友達とトラブルになることもあります。

子ども達には、できるだけたくさんの言葉を使えるようになってほしいと考えています。そうすることで、心や考えを豊かにしていってほしいという思いがあるからです。

2年生児童と話していた時に、図工で作った作品をこう説明してくれました。「ぼくの作品はねえ、毛糸をふんだんに使って作ったんだよ。」

どんな作品だったのでしょうか。見てみたくなります。図工の時間を楽しんでいる様子が目に浮かびました。

多くの言葉を知っていれば、国語だけでなく、どの教科の学習もよくわかり、自分の考えをわかりやすく説明することができます。学習の力の基礎といえます。

ご家庭での生活経験や会話、読書、絵本の読み聞かせなどを通して、できるだけ多くの言葉をもつ子どもたち

を育てていきましょう。

11/3～11/9は家庭読書の取組をお願いしたいと思います。改めてお便りを配付いたします。

「輝く春日っ子」 ※敬称略

○第71回西九州小中学生書道大会

- ・長崎新聞文化ホール賞
4年児童

- ・銀賞 1年児童

※学校便りは学校ホームページにも掲載しております。児童名と写真は個人の情報となるため、ホームページ掲載分の学校便りには載せませんので、御了承ください。

※学校ホームページ「今日の春日っ子」に日々の活動を紹介しています。QRコードからアクセスして、ご覧ください。



11月の行事予定		
1	月	少年の日、体重測定あさひ、長縄練習（1校時）
2	火	全校朝会
3	水	文化の日
4	木	体重測定6年
5	金	体重測定5年
6	土	
7	日	
8	月	縦割活動（説明）、体重測定4年
9	火	縦割活動（花植え）、体重測定3年
10	水	長縄オリンピック（1校時）、体重測定2年、委員会活動
11	木	体重測定1年
12	金	
13	土	
14	日	清水中健全育成会（いもほり）
15	月	
16	火	縦割活動（長縄練習）
17	水	長縄オリンピック（1校時）
18	木	
19	金	食育の日、徳育の日
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	勤労感謝の日
24	水	クラブ活動（写真撮影）
25	木	市教委学校訪問
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	歯の集会

家庭読書
3日（木）～9日（火）

・11/11～12/10
人権同和問題啓発強調月間
・11/14～11/27 家族の週間

※コロナ感染の状況等によっては変更もありますことを御了承ください。

